

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：

情報処理科3年制

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
31	Java演習Ⅲ	2	60	4	必修	実習	有
32	Java資格対策	2	30	2	必修	講義	有
33	Webプログラミング	2	60	4	必修	実習	有
34	JavaScript	2	60	4	必修	実習	有
35	UMLⅠ	2	30	2	必修	講義	有
36	UMLⅡ	2	30	2	必修	講義	有
37	データベース(SQL演習Ⅱ)	2	30	2	必修	実習	有
38	CCNA基礎Ⅰ	2	60	4	必修	実習	無
39	LinuxⅠ	2	60	4	必修	実習	有
40	LinuxⅡ	2	60	4	必修	実習	有
41	LPIC/LinuC対策Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
42	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
43	進級制作	2	60	4	必修	実習	有
44	セキュリティⅡ	2	30	2	必修	講義	有
45	基本情報科目A対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
46	基本情報科目B対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
47	ビジネス数学	2	30	2	必修	講義	無
48	基礎英語Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
49	基礎英語Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
50	一般常識Ⅰ	2	30	2	必修	講義	無
51	一般常識Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
52	就職対策Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
53	就職対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
54	ビジネスマナーⅡ	2	30	2	必修	講義	有
55	プレゼンテーション	2	30	2	必修	実習	有
56	簿記	2	30	2	必修	講義	有
57	体育実習Ⅱ	2	30	2	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Java演習Ⅲ		川前亘・仲智弘	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Java 文法の基本を習得する。																					
【講義概要】																					
Java を用いたプログラミング演習。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	教科書 第1章：インスタンス基礎																				
2	教科書 第2章：ジェネリクス、enum																				
3	教科書 第2章～第3章：インナークラス、関数オブジェクト																				
4	教科書 第3章：ラムダ式、高階関数																				
5	教科書 第3章：StreamAPI																				
6	教科書 第4章～第5章：JVM の機能、外部ライブラリ																				
7	総復習																				
8	教科書 第16章：マルチスレッド																				
9	教科書 第6章：ファイル操作																				
10	教科書 第6章：ファイル操作																				
11	教科書 第7章：ネットワーク通信																				
12	教科書 第7章：ネットワーク通信																				
13	教科書 第8章：データベース連携																				
14	教科書 第8章：データベース連携																				
15	総復習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
川前亘：大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験 仲智弘：独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
スッキリわかるJava実践編 第4版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	講義	Java資格対策		川前 亘	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
全員：Oracle社認定のJava資格試験であるJava SE Bronze（1Z0-818）への合格を目指す。							
【講義概要】							
合格すれば著名なベンダ資格が手に入り就職にも有利となる一方、合格できなければ意義が薄い時間になってしまう。各人、教科書を3周すること。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	教科書の問題演習						
2	教科書の問題演習						
3	教科書の問題演習						
4	教科書の問題演習						
5	教科書の問題演習						
6	教科書の問題演習						
7	中間試験						
8	教科書の問題演習						
9	教科書の問題演習						
10	教科書の問題演習						
11	教科書の問題演習						
12	教科書の問題演習						
13	教科書の問題演習						
14	教科書の問題演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有 基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有							
【教科書・参考文献】							
徹底攻略Java SE Bronze問題集 [1Z0-818] 対応 (インプレス)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	Webプログラミング		坂巻 真美	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
XAMPP環境を用いてWebシステムの基本的な仕組みやシステム構築について学習します。																					
【講義概要】																					
各回のテーマに関する演習を通して理解を深めます。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	PHP入門																				
2	PHP基礎 - 書き方/実行方法・変数・組み込み関数																				
3	PHP基礎 - 入力フォーム・配列																				
4	PHP基礎 - 条件分岐・リダイレクト																				
5	PHP基礎 - フィルタリング・選択肢によるフォーム操作																				
6	ここまでのまとめ																				
7	中間課題																				
8	PHP応用 - DBMSとPHP																				
9	PHP応用 - 連想配列・多次元配列・繰り返し																				
10	PHP応用 - ファイル分割・ユーザー定義関数																				
11	PHP応用 - セッション・SQLインジェクション																				
12	PHP応用 - トランザクション・ハッシュ化																				
13	ここまでのまとめ																				
14	最終課題																				
15	PHP総まとめ - Webアプリケーション・オブジェクト指向																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（出席点）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td>40%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	割合	40%			20%	40%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計															
割合	40%			20%	40%	100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
・ IT企業にてモバイルアプリ開発に従事 ・ 法人および個人向けITスクールにて開発系の科目を12年間担当																					
【教科書・参考文献】																					
PHP Tutorial (オリジナルテキスト) 基礎・応用																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	JavaScript		仲 智弘	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
JavaScriptの標準仕様を理解し、JavaScriptをWebサイトに組み込むことができるようになる。																					
【講義概要】																					
プログラミングの基礎について講義し、JavaScriptの書き方を演習を通して学ぶ。 各講義では授業の理解度を測るために課題の提出を求める。 各自JavaScriptについての研究を行い、発表をLT形式で行う。自身で研究を深めることでより理解を深めることを狙いとする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	JavaScriptの基本 変数、型、数値の計算、文字列の表現																				
2	JavaScriptの基本 関数、制御構文、正規表現、演算子																				
3	データ操作の基本 配列、オブジェクト、JSON、イベント処理																				
4	非同期処理、通信																				
5	APIからデータを取得し、使用する																				
6	アプリケーション制作																				
7	アプリケーション制作																				
8	アプリケーション制作																				
9	アプリケーション制作																				
10	アプリケーション制作																				
11	総合演習																				
12	総合演習																				
13	総合演習																				
14	総合演習																				
15	総合演習																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>60%</td> <td></td> <td></td> <td>40%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	60%			40%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
いきなりプログラミングJavaScript、オリジナル教材																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	UML I		山口 慶輔	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
到達目標はシステム開発の要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等の各工程で使用するダイアグラムを主体的に作成できるよう、UML統合環境ツールの基本的な使用方法を習得する																					
【講義概要】																					
UML統合環境を使用した各種ダイアグラムの基本的な表記法、あわせてどのように図を描くか具体的に想像できるよう実践的な手法を解説する																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	UMLとは オブジェクト指向 歴史的背景 標準化 Astah professionalツールの使用法とダイアグラムの種類の説明																				
2	ユースケース図 特徴(振る舞い図) 表記ルール アクターとユースケース オブジェクト間の関係																				
3	ユースケース図 関連 包含 拡張 汎化 演習問題(基本問題 問題の捉え方 掘み方)																				
4	ユースケース図 演習問題(応用問題 実践問題 解放の手引き)																				
5	オブジェクト図 特徴(構造図) 表記ルール オブジェクトアイコン 属性 関係 インスタンスとクラス																				
6	オブジェクト図 演習問題(基本問題 応用問題 解放の手引き)																				
7	中間試験																				
8	クラス図 特徴 表記ルール 属性 操作 可視性 多重度 ロール クラス間の関係について																				
9	クラス図 関係には(関連 限定子 複数関連 集約 依存 汎化)																				
10	クラス図 関係には(コンポジション 実現 抽象クラス 関連クラス)																				
11	クラス図 演習問題(基本問題からクラスアイコン クラス間の関係の表記 ロールと多重度の表記)																				
12	クラス図 演習問題(応用問題 実践問題 UML/L1レベル相当の問題)																				
13	シーケンス図 特徴 表記ルール 同期メッセージ 非同期メッセージ リプライメッセージ																				
14	シーケンス図 ロストメッセージ ファウンドメッセージ 実行指定																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>75%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>15%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	75%	10%		15%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	75%	10%		15%		100%															
(補足) ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・毎回の作成プロジェクトファイル、章ごとの演習問題のプロジェクトファイルはGoogle Class roomに必ずアップすること																					
【教員紹介】																					
開発ベンダー系IT企業でプログラマを経てSEとして開発業務に従事。 システム設計、アプリ基盤構築、複数の言語での開発経験有り。																					
【教科書・参考文献】																					
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	UML II		山口 慶輔	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
到達目標はシステム開発の実践の場で要件定義、基本設計、詳細設計、プログラム設計等でUMLでドキュメントを作成出来るようになることで、環境としてはUML統合環境ツールの使用を一人称で活用出来るところを目指します							
【講義概要】							
前年2年生後期からの継続実習でUML統合環境を活用したダイアグラム表記が各表記法で描けかつ実践的な表記を習得する							
回	授業計画及び学習の内容						
1	シーケンス図 制御構造化表現の表記法 パラレル クリティカル break ref assert seq ignore strict						
2	シーケンス図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説) 演習の解法・解説						
3	コミュニケーション図 ライフライン及び基本表記法 メッセージの種類・表記法 オブジェクトの関連						
4	コミュニケーション図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
5	ステートマシン図 基本的表記法 状態遷移の表記法 状態の階層化 疑似状態 状態再利用 拡張の表記						
6	ステートマシン図 状態遷移とトリガ 状態の階層化 直交状態 各々疑似状態 履歴疑似 選択疑似						
7	中間試験						
8	ステートマシン図 フォークとジョイン疑似 ジャンクション疑似 停止疑似 合成状態						
9	ステートマシン図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
10	アクティビティ図 基本的表記法 アクションとノード 各々のノード 各々のアクション 表記上の注意点						
11	アクティビティ図 パーティション 呼出し振舞アクション 入出力ピン パラメータアクティビティノード						
12	アクティビティ図 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
13	パッケージ図 基本的表記法 パッケージ図の描き方 階層構造 依存関係 表記上の注意点						
14	パッケージ図 内部要素の切り出し 演習問題(基本問題 応用問題 演習の解法・解説)						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	
割合	75%	10%		15%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
開発ベンダー系IT企業でプログラマを経てSEとして開発業務に従事。システム設計、アプリ基盤構築、複数の言語での開発経験有り。							
【教科書・参考文献】							
技術評論社 かんたんUML入門 [改訂2版] ナツメ社 はじめて学ぶUML 第2版							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	実習	データベース(SQL演習Ⅱ)	川前 亘	有
単位・時間数 2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

教科書、プロジェクト、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。
正規化したエンティティのサンプルを使用する

【講義概要】

教科書、プロジェクト、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。

回	授業計画及び学習の内容
1	1年後期の復習
2	10章:テーブル作成
3	10章:テーブル作成
4	7章:副問い合わせ
5	7章:副問い合わせ
6	9章:トランザクション
7	9章:トランザクション
8	11章:さまざまな支援機能
9	11章:さまざまな支援機能
10	12章:テーブルの設計
11	12章:テーブルの設計
12	DBシステム開発
13	DBシステム開発
14	総まとめ、SQL強化演習
15	総まとめ、SQL強化演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験有
基本情報処理技術者、応用情報処理技術者資格を保有

【教科書・参考文献】

スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	CCNA基礎 I		菊池 靖	無	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
【講義概要】							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル						
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定						
3	IPアドレス・IPv6・ICMP						
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定						
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定						
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習						
7	中間試験						
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播						
9	2進数・サブネットワーク						
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2						
11	IPv6ルーティング						
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティー						
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	Linux I	鈴木 俊	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。

【講義概要】

各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。講義内での演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としてのレポート・自習課題も提出とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	Linuxのインストール
2	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）①
3	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）②
4	シェルのメタキャラクタ
5	標準入出力とリダイレクト
6	viエディタ
7	中間試験
8	パイプラインと grep コマンド
9	ユーザーとグループの管理
10	所有者管理とアクセス権
11	パッケージ管理
12	デバイスとファイルシステム
13	シェルスクリプト
14	バックアップとジョブスケジューリング
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点 (演習提出)	その他 ()	合計
割合	40%		10%	50%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事
携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等

【教科書・参考文献】

オリジナル教材ーLinux I（ベーシック）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	LinuxII		坂巻 吉則	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバー構築技術の習得、およびサーバー構築時におけるセキュリティ知識を習得することを目標とする。							
【講義概要】							
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linux環境の構築						
2	システム管理の基礎						
3	Webサーバーの構築						
4	Webサーバーの構築						
5	LAMP環境の構築						
6	SSHによる暗号化通信						
7	サービス状況の把握とファイアウォール設定						
8	DNSサーバーの構築						
9	DNSサーバーの構築						
10	メールサーバーの構築						
11	メールサーバーの構築						
12	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
13	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
14	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
15	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	
割合	40%			20%	40%	100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。							
【教科書・参考文献】							
LinuxServerセキュリティ（オリジナルテキスト）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	LPIC/LinuC対策 I		鈴木 俊	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Linux Essentials 取得に必要な知識を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
Linux コマンドライン操作の基本を身につけていることを前提として、Linux Essentials 試験の問題対策を行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxの進化と普及したオペレーティングシステム																				
2	主なオープンソースアプリケーション																				
3	ICTスキルとLinuxでの作業																				
4	コマンドラインを使ってヘルプを表示する																				
5	ファイルの作成、移動、および削除																				
6	ファイルからのデータの検索と抽出																				
7	ここまでの復習、中間試験対策																				
8	中間試験																				
9	コマンドをスクリプトにする																				
10	データの格納先																				
11	ネットワーク上のコンピュータ																				
12	セキュリティの基本とユーザー種別																				
13	ファイルのパーミッションと所有権を管理する																				
14	ここまでの復習、期末試験対策																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験</th> <th>小テスト</th> <th>レポート 自習課題</th> <th>平常点</th> <th>その他 ()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他 ()	合計	割合	80%		20%			100%
評価項目	試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点	その他 ()	合計															
割合	80%		20%			100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等																					
【教科書・参考文献】																					
教科書：JMAM Linux Essentials合格テキスト&問題集																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田 雅裕	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。

【講義概要】

ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション
2	データサイエンスのプロセス
3	データ収集①（公開データ）
4	データ収集②（アンケート調査）
5	データクレンジング
6	データ集計
7	データ可視化
8	統計学基礎
9	統計的推定
10	統計的検定
11	連関分析
12	相関分析
13	データサイエンス演習①
14	データサイエンス演習②
15	データサイエンス演習③

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。

【教科書・参考文献】

参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	進級制作		仲智弘/川前亘	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
制作課題を通して、プロジェクトに必要な知識を体験する。 発表機会も作ることで、プレゼン能力も養う							
【講義概要】							
実際の開発に習い、企画検討～設計～開発を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	企画検討						
2	企画検討、仕様調査						
3	企画書作成						
4	企画書作成						
5	設計書作成						
6	設計書作成						
7	企画設計プレゼン						
8	デザイン・UI制作、機能実装						
9	デザイン・UI制作、機能実装						
10	デザイン・UI制作、機能実装						
11	システムの動作テスト						
12	利用者マニュアル作成						
13	発表準備						
14	予行練習						
15	最終発表						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	プレゼン	平常点	その他 ()	合計	
割合	60%		40%			100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
川前亘：大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験 仲智弘：独立系IT企業にてSE・PGとしてソフトウェア開発業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
なし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	セキュリティⅡ		小泉 真理子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
情報セキュリティマネジメント試験の合格を目指す							
【講義概要】							
過去問演習を通して合格に必要な力を身に着ける							
回	授業計画及び学習の内容						
1	過去問科目A演習						
2	過去問科目A演習						
3	過去問科目A演習						
4	過去問科目A演習						
5	過去問科目A演習						
6	過去問科目A演習						
7	中間試験						
8	過去問科目A演習						
9	過去問科目A演習						
10	過去問科目A演習						
11	過去問科目B演習						
12	過去問科目B演習						
13	過去問科目B演習						
14	過去問科目B演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%		40%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
SIベンダにてソリューション提案・設計に従事。保有資格：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士、ネットワークスペシャリスト試験、プロジェクトマネージャ試験、ITサービスマネージャ試験など。							
【教科書・参考文献】							
応用情報技術者過去問題、情報処理安全確保支援士過去問題							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策Ⅱ		川前 亘	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。 基本情報技術者試験科目A免除又は基本情報技術者試験を合格した場合は、本授業は免除とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	過去問演習																				
2	過去問演習																				
3	過去問演習																				
4	過去問演習																				
5	過去問演習																				
6	過去問演習																				
7	中間試験																				
8	過去問演習																				
9	過去問演習																				
10	過去問演習																				
11	過去問演習																				
12	過去問演習																				
13	過去問演習																				
14	過去問演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
大手化学系メーカーで社内SEを経験後、独立系Silerでシステム開発経験																					
【教科書・参考文献】																					
IPAが公開している過去問題、サンプル問題																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ		笹原 重人	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験（FE）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	自己紹介、おさらい(再帰)																				
2	おさらい (整列1, 2)																				
3	おさらい (文字列処理1, 2)																				
4	セキュリティ																				
5	復習1																				
6	復習2																				
7	中間試験試験対策																				
8	中間試験																				
9	中間試験解説																				
10	過去問1																				
11	過去問2																				
12	過去問3																				
13	過去問4																				
14	期末対策																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
IT企業で開発職に従事、製造業/物流業/食品業を中心に開発からマネジメントまで幅広い分野の業務を経験																					
【教科書・参考文献】																					
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版) (大原出版)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	ビジネス数学		氏原 真代	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本的な数学の考え方、公式を理解する。特に割合の考え方を身につける。把握力・分析力・選択力・予測力・表現力のレベルを上げ、ビジネス数学検定に合格する。																					
【講義概要】																					
ビジネス数学検定で出題されるような計算問題を考える力を養う。毎回いろいろな分野の問題を扱うことで、問題に慣れ、自分なりの考え方ができるようにする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	割合と百分率(1) 原価, 定価, 利益, 値引き, 売価, 純利益																				
2	割合と百分率(2) 金利の計算, 単利, 複利																				
3	予測力(1) データからの予測, 仕事算, 作業時間, 累積時間																				
4	予測力(2) 不等式, 売上高の比較																				
5	選択力(1) 評価の重みづけ, 期待値																				
6	百分率と割合・予測力・選択力のまとめ 演習問題																				
7	中間試験																				
8	グラフ(1) グラフの種類																				
9	グラフ(2) グラフを読む, グラフを書く																				
10	集合 ベン図, 集合の法則, 顧客調査																				
11	データの分布(1) 散布図, 相関係数																				
12	データの分布(2) ヒストグラム, バブルチャート																				
13	選択力(2) 顧客管理																				
14	グラフ・集合・データ分布・選択力のまとめ 演習問題																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当																					
【教科書・参考文献】																					
授業時にプリント配布, ビジネス数学検定3級																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語 I	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

英文法を基礎から学び直し即戦力となる基盤を築きたい。またITの専門領域に特化した単語集より各回15語程度の英単語を例文を通して覚えてもらう。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てほしい。

回	授業計画及び学習の内容
1	オリエンテーション、5文型8品詞、IT単語・例文（1～15）
2	Unit 1 「Be動詞、普通動詞」(1)、IT単語・例文（16～30）
3	Unit 1 「Be動詞、普通動詞」(2)、IT単語・例文（31～45）
4	Unit 2 「進行形、未来形、命令形」(1)、IT単語・例文（46～60）
5	Unit 2 「進行形、未来形、命令形」(2)、IT単語・例文（61～75）
6	Unit 2 「進行形、未来形、命令形」(3)、総復習
7	中間試験
8	The Steve Jobs Story、IT単語・例文（76～90）
9	Unit 3 「完了形、受動態、冠詞」(1)、IT単語・例文（91～105）
10	Unit 3 「完了形、受動態、冠詞」(2)、IT単語・例文（106～120）
11	Unit 3 「完了形、受動態、冠詞」(3)、IT単語・例文（121～135）
12	Unit 4 「助動詞、接続詞」(1)、IT単語・例文（136～150）
13	Unit 4 「助動詞、接続詞」(2)、IT単語・例文（151～165）
14	Unit 4 「助動詞、接続詞」(3)、総復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	5%	3%	2%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。
取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

【教科書・参考文献】

【教科書】 Building Solid English Grammar for Practical Use (朝日出版社)
【参考文献】 IPA セキュリティ英単語集 (情報処理推進機構 website)、The Steve Jobs Story (IBCパブリッシング)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026	2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

英文法を基礎から学び直し即戦力となる基盤を築きたい。またITの専門領域に特化した単語集より各回15語程度の英単語を例文を通して覚えてもらう。小テストや課題を原則毎回こなし、積極的な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらいたい。

回	授業計画及び学習の内容
1	Unit 5 「疑問詞」(1)、IT単語・例文(166~180)
2	Unit 5 「疑問詞」(2)、IT単語・例文(181~195)
3	Unit 6 「分詞、5文型、知覚動詞、使役動詞」(1)、IT単語・例文(196~210)
4	Unit 6 「分詞、5文型、知覚動詞、使役動詞」(2)、IT単語・例文(211~225)
5	Unit 7 「代名詞、前置詞」(1)、IT単語・例文(226~240)
6	Unit 7 「代名詞、前置詞」(2)
7	中間試験
8	Unit 8 「関係詞、as と that」(1)、IT単語・例文(241~255)
9	Unit 8 「関係詞、as と that」(2)、IT単語・例文(256~270)
10	Unit 8 「関係詞、as と that」(3)、IT単語・例文(271~285)
11	Unit 9 「不定詞、動名詞」(1)、IT単語・例文(286~300)
12	Unit 9 「不定詞、動名詞」(2)、IT単語・例文(301~315)
13	Unit 9 「不定詞、動名詞」(3)、IT単語・例文(316~330)
14	Unit 13 「まぎらわしい単語・略語、復習」
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	90%	5%	3%	2%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

高校教師(4年)、外資系企業の秘書(5年)、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験(2年半)あり。

取得資格: 英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

【教科書・参考文献】

【教科書】 Building Solid English Grammar for Practical Use (朝日出版社)

【参考文献】 IPA セキュリティ英単語集(情報処理推進機構 website より)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識 I		唐戸 民雄	無	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。							
【講義概要】							
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	言語事項の確認1	社会科系統1	理数系統1	確認テスト1			
2	言語事項の確認2	社会科系統2	理数系統2	確認テスト2			
3	言語事項の確認3	社会科系統3	理数系統3	確認テスト3			
4	言語事項の確認4	社会科系統4	理数系統4	確認テスト4			
5	言語事項の確認5	社会科系統5	理数系統5	確認テスト5			
6	言語事項の確認6	社会科系統6	理数系統6	確認テスト6			
7	言語事項の確認7	社会科系統7	理数系統7	確認テスト7			
8	中間試験						
9	言語事項の確認8	社会科系統8	理数系統8	確認テスト8			
10	言語事項の確認9	社会科系統9	理数系統9	確認テスト9			
11	言語事項の確認10	社会科系統10	理数系統10	確認テスト10			
12	言語事項の確認11	社会科系統11	理数系統11	確認テスト11			
13	言語事項の確認12	社会科系統12	理数系統12	確認テスト12			
14	言語事項の確認13	社会科系統13	理数系統13	確認テスト13			
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	80%	10%		10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。							
【教科書・参考文献】							
授業時にプリントを配付する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026	2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ	唐戸 民雄	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。

【講義概要】

言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPIなどでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。回数が前後する場合もある。

回	授業計画及び学習の内容				
1	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算1	文章題1(仕事算)	確認点スト1
2	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算2	文章題2(年齢算)	確認点スト2
3	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算3	文章題3(植木算)	確認点スト3
4	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算4	文章題4	確認点スト4
5	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算5	文章題5	確認点スト5
6	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算6	文章題6	確認点スト6
7	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算7	文章題7	確認点スト7
8	中間試験				
9	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算8	文章題8	確認点スト8
10	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算9	文章題9	確認点スト9
11	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算10	文章題10	確認点スト10
12	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算11	文章題11	確認点スト11
13	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算12	文章題12	確認点スト12
14	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算13	文章題13	確認点スト13
15	期末試験				

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計
割合	80%	10%		10%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。

【教科書・参考文献】

授業時にプリントを配付する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象													
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期													
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数													
一般教育 必修	講義	就職対策 I		鈴木 俊	有	2単位 30時間													
【授業の到達目標及びテーマ】																			
<p>自分にあった職に就くために行うとよい「自己分析」と「自己PR文の作成」の基本的な方法を習得することを目標とする。また、就職活動の方法を知ること、必要となる準備を行うことを目標とする。</p>																			
【講義概要】																			
<p>各回、テーマに沿ったグループワーク、グループディスカッションを実施する。各回のワークに参加することを課題として、ワークを通じて記入したシートを提出する。また、レポート課題を提出とする。</p>																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	自分の「モノの見方」を考える																		
2	より良い就職とは何かを考える。職業選択理論																		
3	自分が就職に求めるもの考える																		
4	トレードオフを考える																		
5	人口減少・少子高齢化																		
6	中間試験																		
7	ES（エントリーシート）何をどう書く																		
8	ES（エントリーシート）の改善例																		
9	自己PR文章作成ワーク																		
10	自己PRポイントネタの注意点																		
11	履歴書作成ワーク																		
12	ビジネスメールの書き方																		
13	伝わりやすい文章の構成を考える①（論理の構成）																		
14	伝わりやすい文章の構成を考える②（グルーピング）																		
15	期末試験																		
【成績評価方法】																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点（講義内ワークでの課題提出）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>40%</td> <td></td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること</p>								評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点（講義内ワークでの課題提出）	合計	割合	40%		20%	40%	100%
評価項目	試験	小テスト	レポート	平常点（講義内ワークでの課題提出）	合計														
割合	40%		20%	40%	100%														
【教員紹介】																			
<p>インフラ（NW、サーバー）のIT会社にて、営業、人事・労務管理、求人・採用業務に従事</p>																			
【教科書・参考文献】																			
-																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	講義	就職対策Ⅱ		石井眞木子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
就職活動の流れからソフトウェア業界の職種・会社選びの軸・会社訪問・採用試験などについてキャリアコンサルタントの視点から解説し、来年度の就活がスムーズに行えるように履歴書、自己PR、採用面接の準備を行う。							
【講義概要】							
就職対策Ⅰで行った自己分析をもとに、より自己理解を深め履歴書・ESを作成する。さらに、面説練習、様々なロールプレイングによってビジネスマナーを体験しスムーズに就職活動をするための基礎力を養う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	就職対策Ⅱの講義についての説明、就活のスケジュールについての復習、履歴書の説明を行う						
2	履歴書を作成する 「PREP法」を正しく理解する						
3	自己PRを記述し、グループワークによってお互いの自己PRを深める						
4	学生時代に頑張ったことを記述し、グループワークによってお互いの学チカを深める						
5	採用試験（筆記・グループディスカッション・面接など）の説明。敬語、ビジネスマナーを理解する						
6	採用試験の筆記試験について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
7	中間試験						
8	採用試験のWeb試験（CAB、GAB）について模擬試験問題を体験し、自分の得意不得意を理解する						
9	採用試験の面接試験についての説明と面接試験のロールプレイングの準備を行う						
10	面接試験のロールプレイング その1						
11	面接試験のロールプレイング その2						
12	企業求人理解 その1. 企業の求人票を確認する						
13	企業求人理解 その2. 会社の特性の見方と自分に合った会社選びの基準を理解する						
14	内定、試用期間と懲戒についての説明と内定後のスケジュール等を理解する						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	50%		40%	10%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
東京電子専門学校キャリアセンター所属、就職支援のために研鑽を積み産業カウンセラー、国家資格のキャリアコンサルタントの資格を取得し、学生のキャリア支援に勤しむ。							
【教科書・参考文献】							
就職筆記試験 対策問題集 一般常識・SPI編							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	ビジネスマナーⅡ	今村 朋子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

就職活動に役立ち、且つ社会人としても通用するビジネスマナーを身につける。
併せて良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法、日常生活での基本的なマナーの見直しも行う。

【講義概要】

授業は講義と参加型の実習を取り入れ、主体的に発信する力を伸ばし、共感的に受信する力を広げることを目標とする。

回	授業計画及び学習の内容
1	なぜ「ビジネスマナー」が必要なのか 今後の就職活動を踏まえ、社会人となる自己認識を高める 返事と挨拶、礼節としての「お辞儀」 学生と社会人の違い 守秘義務 コンプライアンス
2	「身だしなみ」について 第一印象の形成、重要性 初対面での注意点
3	ビジネスマナーの基本 「人間関係」の大切さ 的確な報告、連絡、相談の方法
4	コミュニケーションの重要性 「聞くこと」「話すこと」の正しい姿勢、「よい話し方」の基本
5	敬語① 正確な敬語を使いこなす T. P. Oに合わせた言葉遣い
6	敬語② 接遇用語・接遇のマナー 「ホスピタリティ」と「サービス」
7	中間試験
8	電話の対応① 電話対応の注意点 「受け方」の基本 苦情電話、間違い電話などへの対応
9	電話の対応② 電話対応の注意点 「掛け方」の基本 伝言メモの作成
10	訪問のマナー 名刺の取り扱いかた 名刺交換の手順 紹介の仕方
11	応接のマナー お茶の出し方 席次のルール 応接室、車、乗り物の席次
12	交際のマナー① 慶事・弔事における決まりごと パーティでのマナー
13	交際のマナー② お中元、お歳暮 賀寿、お礼状など 交際のルール
14	総復習 「仕事の穴」に落ちないために 「人としての魅力」で、仕事の結果につなげよう
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	80%			20%		100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

都内専門学校勤務を経て、大手メーカー研修事業部、大学・短大オープンカレッジ、男女共同参画センター等でビジネスマナー、秘書検定講師を務める。

著作：「わかる! 秘書検定 2級・3級 テキスト&問題集」日本経済新聞出版社

【教科書・参考文献】

知っておきたいビジネスマナー

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション		山際 能理子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
効果的なプレゼンテーションスキルを習得し、社会人基礎力としての発信力・傾聴力を磨き今後の就職活動に活かす							
【講義概要】							
中間テストまでは、プレゼンテーションの基本理論や心理学を学びながら説明や説得力のテクニックを実習します。中間テスト後は、課題に向けてチーム作業を実施し、最終発表します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	【オリエンテーション】	説明力概要		説明と説得			
2	【心理メカニズム】	聞き手の心理を理解する					
3	【非言語情報】	視覚情報と聴覚情報の重要性		空間管理とツールの活用		実習①	
4	【説得力テクニック】	インタビュー		プランニング		ネゴシエーション	
5	【論理構築】	演繹法と帰納法				実習②	
6	【プレゼンテーション基礎】	全体構成		PREP法		実習③	
7	【プレゼンテーション基礎】	全体構成		SDS法		実習④	
8	【スライドの作り方】	文字		図形		レイアウト 配色 グラフや画像処理	
9	★個人プレゼンテーション 1分間発表						
10	【チーム編成】	ブレインストーミング		チーム名決定		全体構成案	
11	【チーム作業1】	分担作業					
12	【チーム作業2】	分担作業					
13	★チーム総合発表						
14	【総合評価】	各チームの評価・検討					
15	【まとめ】						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・中間テストはプレゼンテーションの理論に関する筆記テストがあります。期末テストは、個人発表とチーム発表がテストです。授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること 						
【教員紹介】							
東京電子専門学校では、情報処理科 電子技術科、臨床工学科において、プレゼンテーションやビジネスマナー等を担当する。その他、大学での就職講座、企業や官庁においての階層別研修を担当する。							
【教科書・参考文献】							
説明力強化（拙著）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		情報処理科3年制		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	簿記		木村 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
簿記を通じて、ビジネス会計に必要な知識を習得していきます。仕訳から決算書作成までを学んでいきます。日商簿記3級合格レベルを目指します。																					
【講義概要】																					
人間の社会活動において財務と会計は非常に重要なものです。その財務と会計の基本となる技術が簿記です。そんな簿記の技術を用いて、企業の取引を記録して集計し決算書を作成するまでの流れを学習していきます。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	簿記とは、オリエンテーション																				
2	1. 簿記の基礎																				
3	2. 現金、当座預金																				
4	2. 当座借越、小口現金																				
5	3. 商品売買																				
6	3. 商品売買②																				
7	中間試験																				
8	3. 商品売買（商品有高帳）																				
9	4. 手形																				
10	5. その他の資産負債																				
11	6. 固定資産																				
12	7. 試算表																				
13	8. 決算手続																				
14	8. 決算手続②																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他（ ）</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td>10%</td> <td></td> <td>10%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。																					
【教科書・参考文献】																					
サクッと受かる日商3級商業簿記テキスト（ネットスクール出版）、レジュメ																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		情報処理科3年制	2026	2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	情報処理科3年制 担当教員	無
単位・時間数				
2単位 30時間				

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	春のハイキング
2	
3	
4	
5	学園祭準備（1日目、2日目）
6	
7	学園祭（1日目）
8	
9	
10	学園祭（2日目）、後片付け
11	
12	秋のハイキング
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-